

西部海岸地区の方針（西部海岸地区のマスタープラン）

1. 西部海岸地区の将来都市構造

1 | 湾岸交流拠点の形成

大分港西大分地区周辺は、大分港発祥の地として古くから港町の歴史を刻んできた経緯があり、現在でも本市の海の玄関口として交通結節機能の強化が進んでいることから、交通拠点の形成を図ります。

また、本地区は、市民にとっての貴重な親水空間として利用されており、ウォーターフロントを核として、ホーバークラフト発着地やフェリーターミナル、周辺の魅力施設などと連携し、「湾岸交流拠点」としてにぎわい空間を創出します。

■ a. 創造・表現地区

- ・既存施設を生かしながら、仕組みや仕掛けを再構築して、創造的で個性のある親水性の高い景観を創出します。

■ b. 元気回復地区

- ・別府湾を一望できる視点場として、自由でゆったりとした時間を過ごすことができるような仕組みを構築するとともに、にぎわい創出のためのオープンスペースの確保を図ります。

■ c. 歴史継承地区

- ・大分港発祥の地を感じさせる歴史的資源を活用し、地域の歴史を体感できるような趣のあるまちなみの形成を図ります。

2 | 湾岸レジャーゾーンの形成

田ノ浦海岸地区や高崎山地区は、国道10号（別大道路）に並行しており、集客性の高い観光資源の大分マリンパレス水族館うみたまご、高崎山自然動物園、田ノ浦ビーチがあります。観光資源や海浜を利用したレクリエーションの場を提供することにより市民が海と接し、憩える空間を創出します。

■ a. 海浜レクリエーション拠点

- ・田ノ浦ビーチは、市街地に近く海水浴のできるウォーターフロントであるため海浜レクリエーション拠点として位置付け、自然環境と調和した空間の保全に努めます。

第3章 地区別構想

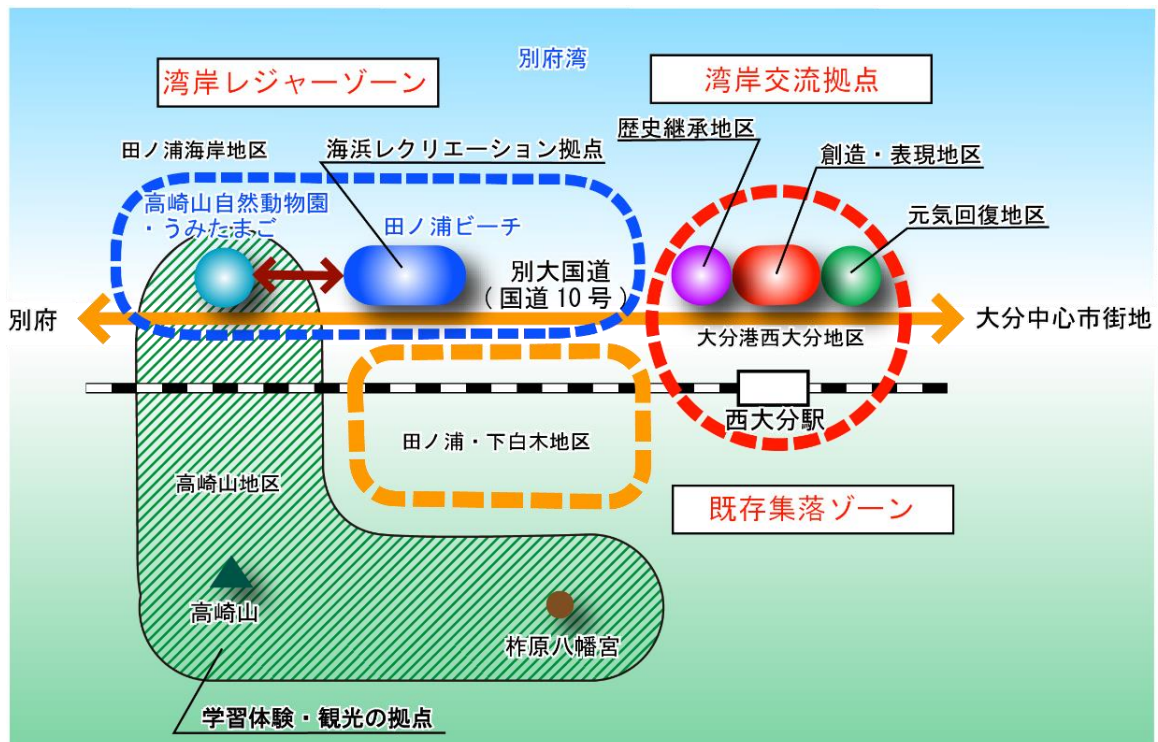
■ b. 学習体験・観光の拠点

- ・高崎山地区は、集客性の高い大分マリンパレス水族館うみたまご、高崎山自然動物園があり、また、上八幡地区には、国指定重要文化財の柞原八幡宮などがあることから、自然環境と調和した学習体験・観光拠点の形成を図ります。

3 | 既存集落ゾーン

田ノ浦、下白木地区は、市街化調整区域であることから、地域コミュニティの維持を図るとともに、自然環境と調和した空間の保全に努めます。

西部海岸地区の将来都市構造図



2. 西部海岸地区の現況

1 | 大分港西大分地区

- ・商業施設や工業施設などが集積しており、住宅用途の混在が見られます。
- ・大分港（かんたん港園）は、みなとオアシス*に登録されており、遊休化倉庫をリノベーションした商業施設・文化施設などが整備されています。
- ・地区内における空き地や空き店舗など、地域の活力低下が懸念されます。
- ・JR 西大分駅周辺において、歩行者と自動車を区分する施設がなく、交通安全上問題があります。

- ・新たな業種・業態の進出が見られるものの、駐車場などの環境整備が遅れています。
- ・大分港西大分地区と JR 西大分駅は国道 10 号で分断されており、歩行者動線の改善が必要です。
- ・道路や鉄道、航路において広域的なつながりがあり、本市の海の玄関口としてふさわしい交通結節機能が求められます。

※みなとオアシス：地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が登録したもの。

2 | 田ノ浦海岸地区

- ・田ノ浦ビーチの整備により、防波堤・人工海浜・駐車場などが供用されています。
- ・国道 10 号(別大道路)の整備が完了し、大分中心部から 6 車線で供用しています。
- ・別府湾の美しい眺望を望むことができます。

3 | 高崎山・上八幡地区

- ・高崎山地区では、国道 10 号（別大道路）の整備が完了し、大分市中心部から 6 車線で供用しています。
- ・瀬戸内海国立公園の一部となる高崎山自然動物園や学習施設となる大分マリーンパレス水族館うみたまごなどがあります。
- ・高崎山山頂部の城跡、上八幡地区の国指定重要文化財である柞原八幡宮などの歴史的資源があります。
- ・高崎山周辺は、自然公園法による特別保護地区や第 2 種特別地域、保安林に指定されています。

4 | 田ノ浦・下白木地区

- ・田ノ浦・下白木地区では人口減少や高齢化が進んでいます。
- ・国道 10 号（別大道路）の拡幅改良により、未利用地が存在します。



田ノ浦ビーチ



国道 10 号沿道

第3章 地区別構想

3. まちづくりの課題

1 | 土地利用・市街地整備

- ・大分港西大分地区周辺においては、海の玄関口にふさわしい交通結節機能の強化を図るとともに、社寺仏閣や歴史的建造物、かんたん地区など歴史と文化の再生と新しい交流の形成に向けた土地利用の純化・明確化のため、地域住民との協働によるまちづくりによる交流拠点の形成が必要です。
- ・大分港西大分地区周辺の既存施設(空倉庫・空家屋など)や空き地などを利用した新たな施設整備の促進、地域活性化等に向けた取組が必要です。
- ・高崎山や別府湾の豊かな自然を活用したさまざまな観光・レクリエーション施設が集積しており、それぞれが連携した観光の促進や憩いの場の形成が求められています。
- ・高崎山地区においては、観光拠点の拡充に向けた秩序ある土地利用や、周辺の自然環境に調和した施設整備に向けた規制・誘導が必要です。
- ・田ノ浦海岸地区においては、既存の観光資源や施設等の活用を図るとともに憩い・交流の拠点となる空間の形成が求められています。また、年間を通じた施設利用が求められています。
- ・人口減少の著しい田ノ浦や下白木地区では地域コミュニティを維持し地域の活性化を図るため継続的な取組が必要です。

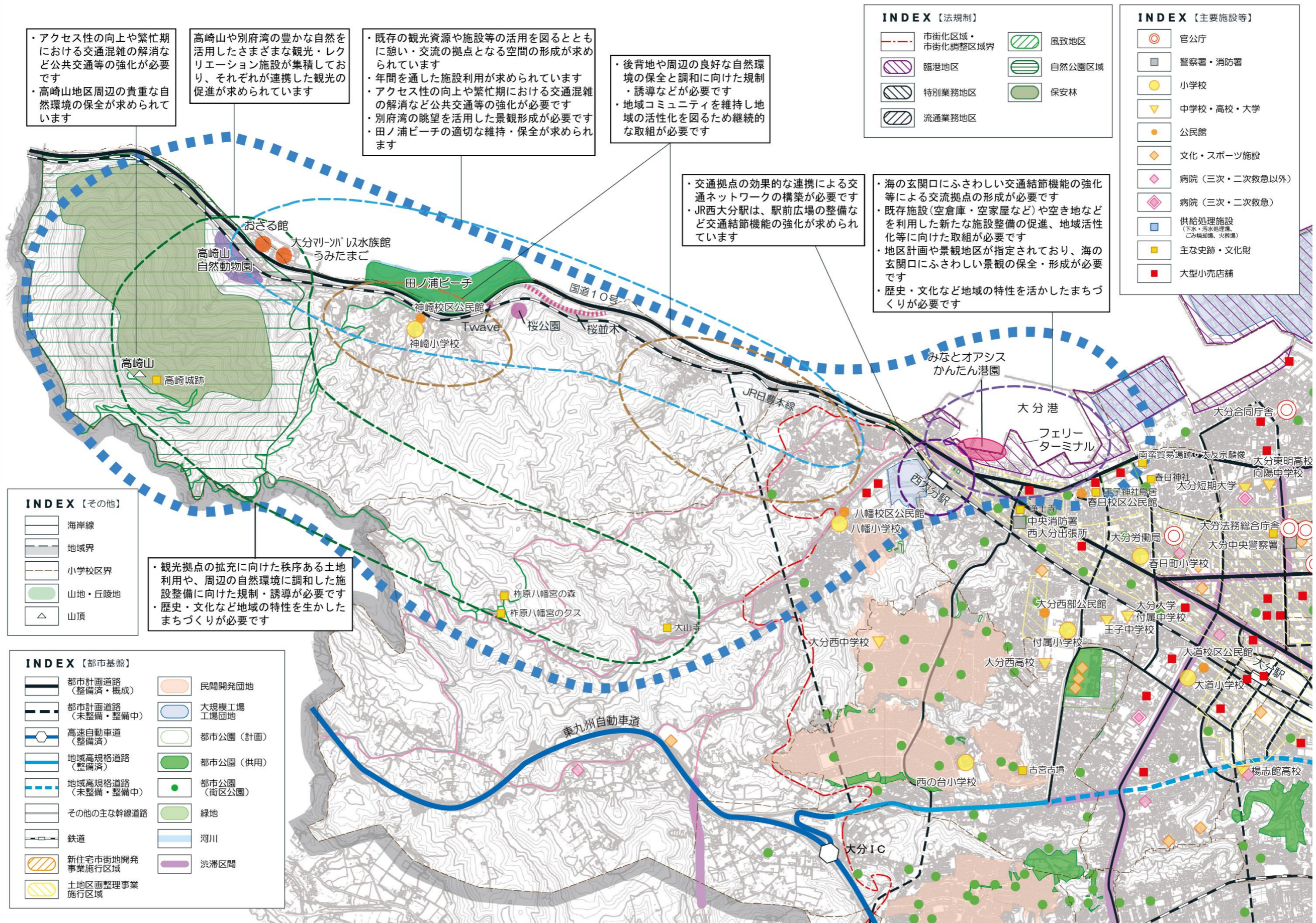
2 | 交通施設

- ・国道10号とJR西大分駅、大分港西大分地区などの交通拠点の効果的な連携による交通ネットワークの構築が必要です。
- ・JR西大分駅は、駅前広場の整備など交通結節機能の強化が求められています。
- ・高崎山・田ノ浦海岸地区では、アクセス性の向上や繁忙期における交通混雑の解消など公共交通等の強化が必要です。

3 | 環境・景観

- ・景観上先導的に景観形成を進める必要がある区域として「西大分湾岸周辺地区」が設定されています。
- ・「西大分港周辺地区」においては、「良好なまちなみの形成」を目標とした地区計画や景観地区が指定されており、海の玄関口にふさわしい景観の保全・形成が必要です。
- ・別府湾沿岸部においては、別府湾の眺望を活用した景観形成が必要です。
- ・歴史・文化など地域の特性を生かしたまちづくりが必要です。
- ・高崎山周辺の貴重な自然環境の保全が求められています。
- ・田ノ浦・下白木地区においては、後背地や周辺の良い自然環境の保全と調和に向けた規制・誘導などが必要です。
- ・田ノ浦ビーチの適切な維持・保全が求められます。

西部海岸地区の現況及び課題図



4. まちづくりの方針

1 | 土地利用・市街地整備

- ・大分港西大分地区周辺においては、JR 西大分駅との連携による、親水性を生かした海の玄関口にふさわしい交通結節機能の強化と歴史文化を大切にした湾岸交流拠点の形成を進めます。
- ・湾岸交流拠点においては、既存施設や空き地などを利用した新たな施設整備を促進するとともに、ホーバークラフト発着地やフェリーターミナル等と連携し、集客力の向上、人の流れの形成等によるにぎわいの創出や地域の活性化、市民生活の向上を図ります。
- ・田ノ浦海岸地区の海浜部は、にぎわい空間を創出し、親水性ある海浜レクリエーション拠点の形成を図ります。
- ・高崎山地区の海岸部は、大分マリンパレス水族館うみたまごを中心とした学習・観光拠点の形成を図ります。
- ・高崎山自然動物園、大分マリンパレス水族館うみたまご相互の連携強化を図り、回遊性を高め、観光振興に努めます。
- ・観光拠点の拡充に向けた秩序ある土地利用や、周辺の自然環境に調和した施設整備に向けた規制・誘導を推進します。
- ・田ノ浦海岸地区においては、既存の観光資源や施設等と連携した憩い・交流拠点の整備を推進します。
- ・人口減少の著しい田ノ浦や下白木地区では地域コミュニティの維持、形成に向け適切な制度運用を行うとともに、集落環境の充実を図ります。

2 | 交通施設

- ・JR 大分駅から直近の駅である JR 西大分駅は、本市の海の玄関口である大分港西大分地区に隣接する旅客駅として、また、住民のための公共交通機関の主要施設としてターミナル機能の向上を図り、地域の交通拠点の整備を図ります。
- ・JR 西大分駅は、駅前広場の整備など交通結節機能の強化を図ります。
- ・高崎山地区では、アクセス性の向上のための交通施設・交通機関の強化について検討を行います。
- ・田ノ浦海岸地区、高崎山地区においては、繁忙期の交通渋滞に対応するため、公共交通の利便性の向上を図るとともに、高崎山地区山側部の国道 10 号(別大道路)の拡幅改良によって生じた未利用地の有効活用について検討を行います。

第3章 地区別構想

3 | 環境・景観

- ・「西大分湾岸周辺地区」においては、自然、歴史、文化が調和した景観の保全・形成を図ります。
- ・「西大分港周辺地区」においては、海とかんたんの歴史を感じる、にぎわいと憩いのみなとオアシスの形成を図ります。
- ・別府湾沿岸部においては、別府湾の眺望を活用した景観形成を図ります。
- ・柞原八幡宮やかんたん地区などの歴史、文化を生かし、景観に配慮したまちづくりを推進します。
- ・高崎山地区周辺の貴重な自然環境の保全を図ります。
- ・田ノ浦・下白木地区においては、後背地や周辺の良い自然環境の保全と調和に向けた規制・誘導を推進します。
- ・田ノ浦ビーチの適切な維持・保全に努めます。



かんたん港園



柞原八幡宮

西部海岸地区のまちづくりの方針図

・アクセス性の向上のための交通施設・交通機関の強化について検討を行います
 ・高崎山地区周辺の貴重な自然環境の保全を図ります

・大分マリンパレス水族館うみたまごを中心とした学習・観光拠点の形成を図ります
 ・高崎山自然動物園、大分マリンパレス水族館うみたまご相互の連携強化を図り、回遊性を高め、観光振興に努めます
 ・繁忙期の交通渋滞に対応するため公共交通の利便性向上を図ります

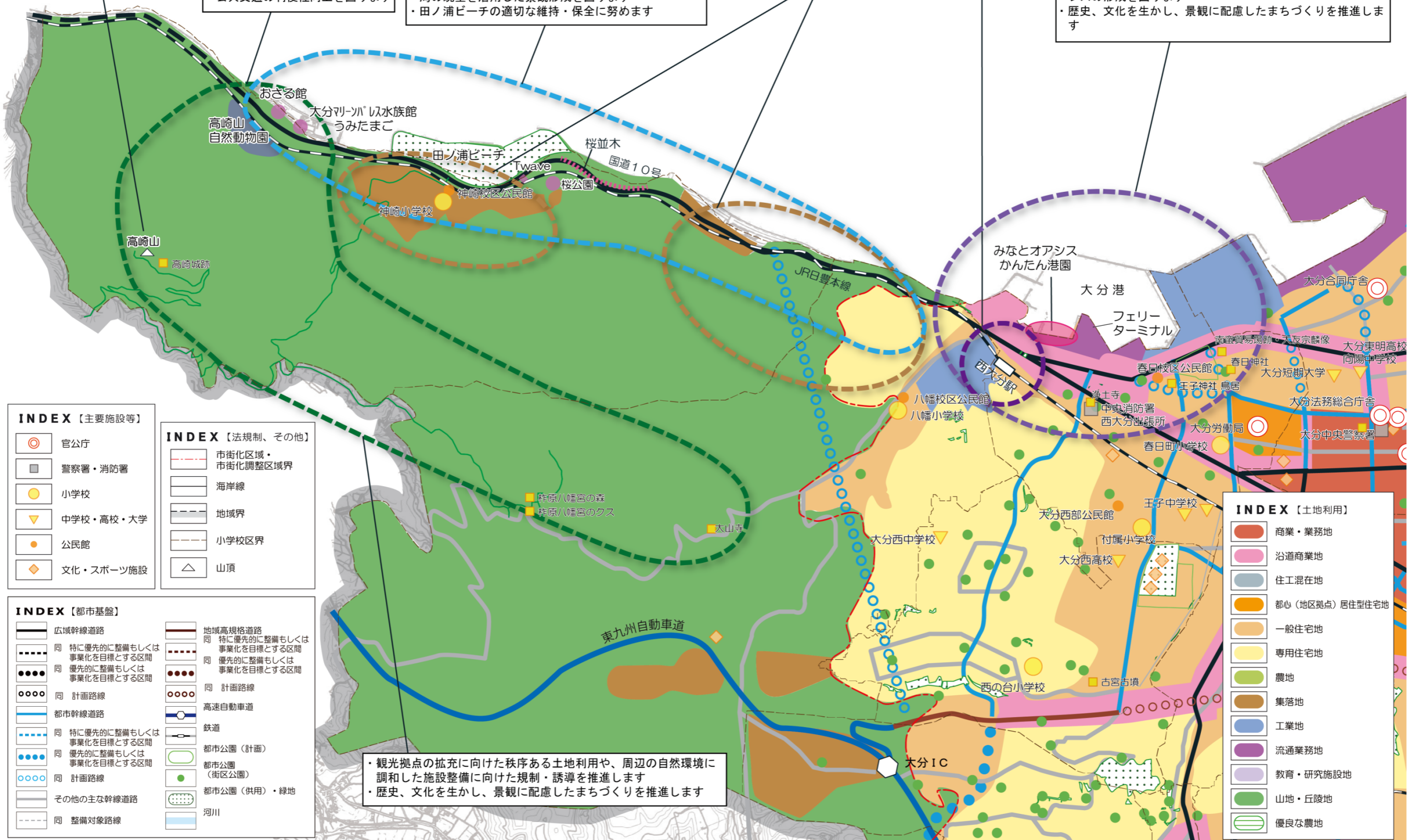
・にぎわい空間を創出し、親水性ある海浜レクリエーション拠点の形成を図ります
 ・既存の観光資源や施設等と連携した憩い・交流拠点の整備を推進します
 ・公共交通の利便性の向上を図るとともに、高崎山地区山側部の国道10号の拡幅改良によって生じた未利用地の有効活用について検討を行います
 ・自然、歴史、文化が調和した景観の保全・形成と別府湾の眺望を活用した景観形成を図ります
 ・田ノ浦ビーチの適切な維持・保全に努めます

・後背地や周辺の良好な自然環境の保全と調和に向けた規制・誘導を推進します
 ・地域コミュニティの維持、形成に向け適切な制度運用を行うとともに、集落環境の充実を図ります

・ターミナル機能の向上を図り、交通拠点の整備を図ります
 ・JR西大分駅は、駅前広場の整備など交通結節機能の強化を図ります

・JR西大分駅との連携による、親水性を生かした海の玄関口にふさわしい交通結節機能の強化と歴史文化を大切にた湾岸交流拠点の形成を進めます
 ・既存施設や空き地などを利用した新たな施設整備を促進するとともに、ホーバークラフト発着地やフェリーターミナル等と連携し、集客力の向上、人の流れの形成等によるにぎわいの創出や地域の活性化、市民生活の向上を図ります
 ・海とかんたんの歴史を感じる、にぎわいと憩いのみなとオアシスの形成を図ります
 ・歴史、文化を生かし、景観に配慮したまちづくりを推進します

・観光拠点の拡充に向けた秩序ある土地利用や、周辺の自然環境に調和した施設整備に向けた規制・誘導を推進します
 ・歴史、文化を生かし、景観に配慮したまちづくりを推進します



INDEX【主要施設等】

- 官公庁
- 警察署・消防署
- 小学校
- ▽ 中学校・高校・大学
- 公民館
- ◇ 文化・スポーツ施設

INDEX【法規制、その他】

- 市街化区域・市街化調整区域
- 海岸線
- 地域界
- 小学校区界
- 山頂

INDEX【都市基盤】

- 広域幹線道路
- 同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 計画路線
- 都市幹線道路
- 同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 計画路線
- その他の主な幹線道路
- 同 整備対象路線

- 地域高規格道路
- 同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 計画路線
- 高速自動車道
- 鉄道
- 都市公園(計画)
- 都市公園(街区公園)
- 都市公園(供用)・緑地
- 河川

INDEX【土地利用】

- 商業・業務地
- 沿道商業地
- 住工混在地
- 都心(地区拠点)居住型住宅地
- 一般住宅地
- 専用住宅地
- 農地
- 集落地
- 工業地
- 流通業務地
- 教育・研究施設地
- 山地・丘陵地
- 優良な農地

序章 都市計画マスタープランとは
 第1章 都市づくりの目標
 第2章 全体構想
 第3章 地区別構想
 第4章 計画の実現に向けて